

裏妙義山系に登る皆さまへ

～事故なく、汚さず、楽しい

思い出を作って

無事に下山するために～



群馬県安中警察署

027-381-0110

松井田山岳会

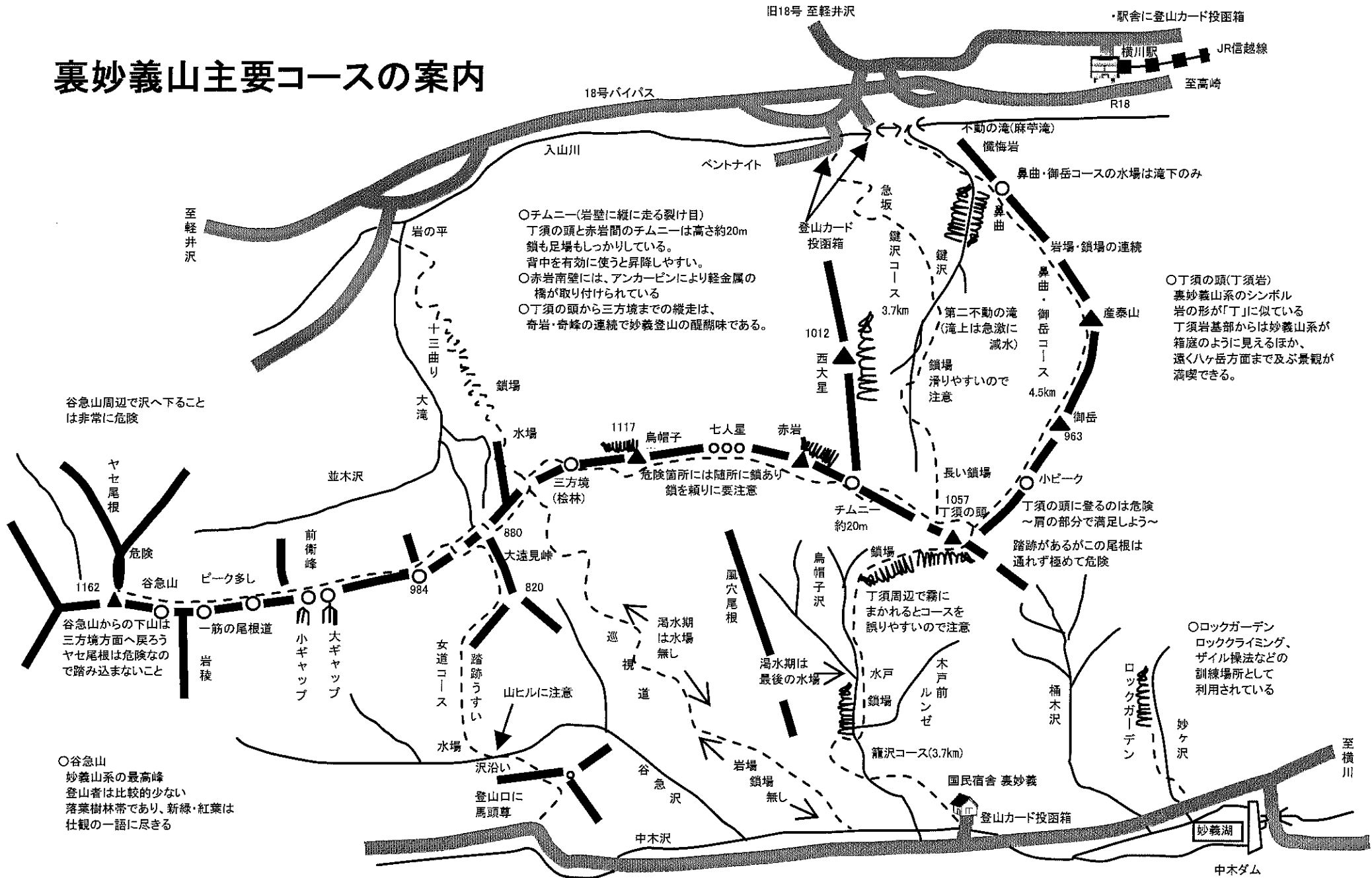
安中消防署松井田分署

群馬県安中市

裏妙義山系登山での注意事項

- この山の標高は決して高くないのですが、急峻な岩場が多く油断は禁物です。とりわけ雨に濡れた岩場は細心の注意が必要です。この案内に示されていないコースを選ぼうとするパーティーには、高度な登山技術と完全装備が要求されます。
- 登山カードは必ず提出してください。カード投函箱は、横川駅、鍵沢・御岳・笹沢（国民宿舎西）の各登山口に設置してあります。
- 尾根筋には水場が全くありません。1リットル前後の熱い飲み物は必需品です。
- 「早立ち・早着」は登山の鉄則です。しかし、思わぬアクシデントや秋の日のつるべ落としに見舞われることを考えておくべきです。両手を使わなければ登り降りができないこの山ではヘッドライトが最も良いのですが、それを携行していない場合は、懐中電灯にひもをつけておきましょう。
- 悪天候、とりわけ霧に悩まされることが少なくありません。回復を期待せず早めに元のコースに戻りましょう。
- 近道に見える「けもの道」が随所にありますが、これを選んで危険です。指導標やペンキ標示に忠実に従ってください。
- この山での事故のほとんどは、沢筋への転落、滑落です。もし、事故に遭い、自力での下山ができない場合は動かずに救助を待ってください。警察ではヘリコプターによる捜索もしますが、沢筋にいる遭難者を見発するのはたいへん困難です。
ヘリコプターに位置を知らせる場合、たき火が分かりやすいのですが、山火事の危険がありますので、カメラのストロボをヘリコプターの方に向けて発光させてください。
- 虫や蜂に刺され常備薬がないときは、タケニ草の樹液を塗ると良く効きますので覚えておくと便利です。各登山口の周囲にはタケニ草が見られます。

裏妙義山主要コースの案内



○チムニー(岩壁に縦に走る裂け目)
 丁須の頭と赤岩間のチムニーは高さ約20m
 鎖も足場もしっかりしている。
 背中を有効に使うと昇降しやすい。
 ○赤岩南壁には、アンカーピンにより軽金属の
 橋が取り付けられている
 ○丁須の頭から三方境までの縦走は、
 奇岩・奇峰の連続で妙義登山の醍醐味である。

○丁須の頭(丁須岩)
 裏妙義山系のシンボル
 岩の形が「丁」に似ている
 丁須岩基部からは妙義山系が
 箱庭のように見えるほか、
 遠く八ヶ岳方面まで及ぶ景観が
 満喫できる。

谷急山周辺で沢へ下ることは非常に危険

谷急山からの下山は三方境方面へ戻ろう
 ヤセ尾根は危険なので踏み込まないこと

○谷急山
 妙義山系の最高峰
 登山者は比較的少ない
 落葉樹林帯であり、新緑・紅葉は
 仕観の一語に尽きる

危険箇所には随所に鎖あり
 鎖を頼りに要注意

丁須の頭に登るのは危険
 ~肩の部分で満足しよう~
 踏跡があるがこの尾根は
 通れず極めて危険

○ロックガーデン
 ロッククライミング、
 ザイル操法などの
 訓練場所として
 利用されている

丁須周辺で霧に
 まかれるとコースを
 誤りやすいので注意

湯水期は最後の水場

山ヒルに注意

登山口に馬頭尊

中木ダム